

報道機関配付資料 安城市

件名 生成A Iを活用した「生活保護業務の効率化」の実証実験について

令和7年5月2日

本市は、今年度から、生活保護に関する窓口や電話での問い合わせなどに生成A Iを試験的に導入し、業務の効率化を図ります。

生活保護実施の根拠となる関連法令や生活保護手帳などのデータを予め読み込ませた生成A Iに保護の実施に関する条件を入力することで、問い合わせなどに対する回答案やその根拠法令等の確認が行えるため、従来の紙資料での確認よりも早く正確な対応が可能となります。

問い合わせなどに対する調査や確認・検討に要する時間が減少することにより、職員が他業務へ充てる時間を確保することが可能となるなど、業務の効率化が期待できます。

問い合わせ

安城市役所 デジタル推進課デジタル推進係

社会福祉課生活支援係

電話（直通） 0566-71-2207（デジタル推進課）

0566-71-2224（社会福祉課）



安城市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



安城市LINE
公式アカウント
友だち募集中

【報道発表：参考資料】

令和7年5月2日

1 概要

生活保護実施の根拠となる関連法令や生活保護手帳などのデータを、予め読み込ませた生成AIに、保護の実施に関する条件を入力することにより、窓口や電話での問い合わせなどに対する回答案やその根拠法令等の確認を行うこと。

従来の紙資料に比べ、迅速かつ正確な確認が図られ、業務効率化に資する効果。

2 導入経緯

R6「DX推進支援業務委託（デジタル推進課所管）」において、生成AI活用による業務改善の伴走支援を実施。以下の項目を実施

- ① 現状業務の洗い出し、改善点の確認
- ② 生成AIに読み込ませるデータの確認
- ③ プロンプト（生成AIへの指示及び命令）
- ④ 効果測定

3 効果測定の結果

- （1） 相談者への迅速な回答→相談対応減少による他業務への時間確保
- （2） 業務の標準化→新任者のスピーディな業務習得、誤った回答の未然防止
- （3） 職員の生成AIに関するリテラシーの向上→他業務への活用

4 今後の予定

- ・ R6の伴走支援の結果を踏まえ、令和7年度から実務に導入し、業務効率化の効果についてさらなる検証を実施
- ・ 他部署に向けて情報を横展開し、生成AI活用の拡大を図っていく